

第31回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成18年5月26日(金) 15:00~16:40

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 第1次学長候補者の選出について

議長から、議事は第1次学長候補者の選出であるので、候補適任者である議長及び石田評議員は、議事に参加することは適切ではないので退席する旨の発言があり、了承された。

次に議長から、崎山評議員に議長の職務を代行願いたい旨、指名があった。

議長及び石田評議員の退席後、議長の職務を代行する崎山評議員から、第1次学長候補者選出後の次の対応として、①学内予備投票の結果を添えて学長選考会議議長あてに文書で推薦すること及び②学内への公表については、学内予備投票の結果を添えて、学内教職員ホームページに掲載及び掲示により行うことについて提案があり、異議なく確認された。

次に岡林学内予備投票管理委員会委員長から、学内予備投票の結果について、次のとおり報告があった。

投票資格者数	1, 112名
投票者数	844名(不在投票者を含む。)
無効投票	4票
白票	14票
得票数	石田正弘 114票
	加藤有三 103票
	齋藤 寛 540票
	橋本健夫 69票

これを受けて、崎山評議員から、本評議会から学長選考会議に候補適任者4名を、第一次学長候補者として推薦することとしたい旨提案があり、異議なく了承された。

議長及び石田評議員が議場に戻るまで議事を中断した。

(中断 15:08~15:11)

(2) 学生の懲戒処分について

(学生の個人情報を含む審議事項であるため非公開)

(3) 平成19年度概算要求(特別教育研究経費、施設整備事業)について

議長から、平成19年度概算要求（特別教育研究経費、施設整備事業）について審議の提案があった。

引き続き、財務部長及び施設部長から、資料3に基づき、部局から提出された分野別の要求一覧の概要について、説明があった。

議長から、重点項目の決定及び要求順位について、①学部横断的な取り組みや設備の共有化などの全学的な視点、②長崎大学の特色と個性を生かした先端的、萌芽的な取り組み、③独創的、意欲的な教育研究活動、④社会的な意義・必要性、⑤国あるいは文部科学省が求める政策的な課題への対応等を勘案して精選を行い、最終的な決定については、役員会に一任願いたい旨の提案があり、審議の結果、これが了承された。

また、最終的な要求項目等については、本評議会に報告することとした。

(4) 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書（原案）について

議長から、平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書（原案）について審議の提案があった。

引き続き、中山副学長（環境・評価担当）から、資料4に基づき、計画・評価本部において検討した原案について、特記事項を中心に、説明があった。今回提案した原案については、各部局に持ち帰り検討を願い、意見等があれば6月8日（木）までに総務部企画課へ提出するよう依頼があり、同日までに出された各部局からの意見を踏まえ、6月19日開催予定の経営協議会での意見を合わせて検討を重ねた上で、6月23日開催の本評議会に付議することの説明があった。

4 報告事項

(1) 兼業許可の状況について

理事（人事担当）から、資料5に基づき、兼業許可の規則等の状況及び平成15年度から平成17年度までの兼業許可状況について、報告があった。

(2) 平成18年度科学研究費補助金の採択状況について

理事（研究・国際担当）から、資料6に基づき、平成18年度科学研究費補助金の採択状況について、報告があり、各部局において、より一層の科学研究費補助金の申請率・採択率の向上のために取り組んでいただきたい旨の依頼があった。

(3) その他

ア Web学生支援システム協議会ワーキンググループについて

理事（教育・情報担当）から、5月19日開催のWeb学生支援システム協議会において同協議会要領により、ワーキンググループを設置することについて報告があり、各部局にワーキンググループメンバーの選出について協力の依頼があった。

イ 課長の人事異動について

事務局長から、6月1日付けで異動する学術国際課長の紹介があり、当該者より

挨拶があった。

ウ 会計検査院による実地検査について

事務局長から、会計検査院による5月22日から26日午前中まで行われた実地検査について、無事終了したことの報告があった。

エ 6月及び7月の教育研究評議会の開催日時について

総務課長から、6月及び7月の教育研究評議会の開催日時について連絡があった。

以 上